

教科	種目	意見書	発行者
音楽	音楽		教育出版

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 一つの教材曲で3つの資質・能力をバランスよく育成できるよう、構成・配列に配慮されている。 吹き出しにより、具体的なヒントや助言が示されており、児童の意欲を高めることや学びの方向付けにつながっている。 「まなびナビ」として、思考力・判断力・表現力を育成するための学び方が示されており、学びに向かう力を育成する配慮がされている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 題材と題材につながりがあり、1年を通して系統性がある。 1学年から6学年まで系統的・発展的に学ぶことができるよう、題材部分を色分けしてあり、系統性が分かりやすいように配慮されている。 各学年の巻末にこれまで学習した主な学習内容がまとめられており、これまでの学年の学習内容も振り返ることができる。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 「音のスケッチ」と「まなびナビ」が題材の中に配置されており、本題材の学び方が分かるようによく工夫されている。 各学年に「学習マップ」があり、1年間を通して、何をどのようにして学ぶかわかり、見通しがもてる。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> わらべ歌やおまつりの音楽、民謡を取り上げ、情景を思い浮かべられる写真を多く掲載し、伝統音楽に親しめるよう配慮されている。 曲を聴くだけでなく、楽譜を掲載することで表現できるように工夫されている。 岐阜県の伝統音楽として郡上八幡の盆踊りが掲載されている。
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 2次元コードが用意されている教材があり、動画や音源、ワークシートなどにより、児童の学びをサポートできるように工夫されている。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 折り込みになっている運指が巻末ページにあるため、運指を確かめながら演奏することができるようによく配慮されている。 各学年の「音楽ランド」の中に英語の歌が位置付けられており、外国の文化に親しむことができるようによく配慮されている。
3	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 全学年A B版 低学年は173g、79ページ。3年生は184g、81ページ。4～6年生は192g、83ページ。 児童にとって扱いやすいようによく工夫されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを用いたり、配色やレイアウトを工夫したりするなど誰にとっても読みやすいように配慮されている。 リズム譜の表記に○と◇（休符）を使っており、低学年の児童が拍を理解しやすいように工夫されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 表表紙の裏には、1年間の流れがわかる学習マップと学習の進め方が掲載されている。 巻末には、音楽を表すいろいろな言葉や音楽のもとなど今までの学習を思い出しやすいように工夫されている。

教科	種目	意見書	発行者
音楽	音楽		教育芸術社

	着眼点	意見
1	(1) 資質・能力の三つの柱（「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性等」の涵養）をバランスよく育成	<ul style="list-style-type: none"> 一つの教材曲で3つの資質・能力をバランスよく育成できるように構成・配列によく配慮されている。 吹き出しによる具体的なヒントや助言が示されていたり、児童が思考する際の手助けになる例をいくつか示して比較できるようにしたりするなどよく工夫されている。 教材曲ごとに、「考える」「見つける」「表現する」3つの学びのヒントが示されており、学びに向かう力を育成する配慮がよくされている。
	(2) 各教科等及び各学年相互間の関連及び系統性、発展性	<ul style="list-style-type: none"> 複数の領域が題材の中にバランスよく入っている。 2学年ごとに関連をもった系統的、発展的な構成・配列となっており、6年間を通して、系統的・発展的に学ぶことができるようによく配慮されている。 各学年に「ふり返りのページ」が位置付けられており、その学年の学習内容を振り返ることができる。
	(3) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善	<ul style="list-style-type: none"> どの教材にも「考える」や「見つける」「歌う」など、学び方が分かるようによく工夫されている。 題材の最後のページには、本題材の振り返りが掲載されている。
2	(1) ふるさとへの誇りと愛着を育む、ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 1・2年生はわらべ歌、3・4年生は地域に伝わる音楽、5・6年生は民謡や日本の音楽というように、伝統音楽に親しみ、系統的に学べるようによく配慮され取り上げられている。 伝統音楽について学んだことを音楽づくりに取り入れてより伝統音楽に親しめるようによく配慮されている。 中学年では、自分たちの地域の伝統音楽について調べる活動が位置付けられている。
	(2) ICT を活用した学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの教材に2次元コードが掲載されており、動画や音源、関連資料や外部Webサイトの閲覧など、児童の学びをサポートできるようによく工夫されている。
	(3) 多様な学びを支援する教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各学年に世界の音楽が鑑賞や歌唱などで取り入れられており、様々な国の音楽に親しむことができるように配慮されている。 6年生には特集ページがあり、著作権や生活や社会とのつながりについて考えることができるように工夫されている。
3	(1) 教科書の厚み、重量	<ul style="list-style-type: none"> 全学年AB版 低学年は171g、83ページ。中高学年は182g、87ページ。 児童にとって扱いやすいようによく工夫されている。
	(2) 文字の大きさ、字間、行間、書体、図版等	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントを用いたり、配色やレイアウトを工夫したりするなど誰にとっても読みやすいように配慮されている。 リズム譜の表記が○印（●、○、・）に統一されており、低学年の児童が拍を理解しやすいようによく工夫されている。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 表表紙の裏に1年間で学ぶことを4領域に分かれて掲載されており、学ぶ島や木などのイラストを学年が上がるにつれ大きくなるなど、6年間のつながりが分かるようによく工夫されている。 巻末には、振り返りのページとして1年間で学んだ音楽を形作っている要素ごとにまとめられて掲載されている。